

新型コロナウイルス感染症の影響下における県の取組

1 神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金

- 新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために自粛されていた文化芸術活動の再開を加速させるため、感染防止対策を講じた「新しい生活様式」の下での文化芸術活動に補助を行う、神奈川県文化芸術活動再開加速化事業補助金を、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、創設した。
- 募集期間中（7月20日～8月7日）約330団体等から計約3億4千万円の補助金申請があり、265事業者に計約2億7千万円の補助をした。

2 かながわ短編演劇アワード無観客ライブ配信

- 本事業は、マグカルの核となる舞台芸術人材の育成を目的とするもので、全国から応募のあった中から選出した演劇団体が30分以内の短編演劇で競い、最優秀団体には、賞金100万円を付与することで、神奈川の演劇人の技術の向上や創作活動の活性化・振興を図るとともに、県民へ、よりレベルの高い演劇の鑑賞機会を提供するために毎年実施するものである。
- 令和元年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催自体危ぶまれる状況となったが、委託事業者や審査委員や参加団体をはじめとする関係者と綿密な調整を行い、コロナ禍における先駆的な取組として、無観客ライブ配信に切り替え、事業を中止することなく実施し、当日のライブ配信閲覧数も常時150～200人で推移し、一定の観覧数を確保することができた。

3 バーチャル開放区

- 県庁前の日本大通りで、音楽やダンスなどのパフォーマンスを自由に発表できる空間「マグカル開放区」は、現在、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で開催を一時休止している。
- そこで、インターネット上に会場を移して、「バーチャル開放区」として開催することとし、コロナ禍において、医療従事者をはじめとする感染拡大防止等に取り組む方々を「文化芸術の力」によって、応援するとともに、発表の場が奪われているアーティストの方に機会を提供するとともに、賞金を贈呈することによって直接的な支援を行うことを目的として実施した。
- 約250件の動画（一般244件、ゲスト11件）の応募を得ることができ、また、閲覧回数は約30万回（令和2年9月30日時点）であった。

4 舞台芸術オンライン講習会

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、県内の学校現場においても、5月末まで休校、自宅学習を余儀なくされ、部活動も活動休止となった。このため、自宅での研鑽及び学校再開後の部活動において活用してもらうため、令和2年5月から6月にかけてオンラインによる舞台芸術の講習会を実施し、舞台芸術活動に取り組む青少年を支援した。
- 演劇部門とダンス部門の2つのプログラムで、かなチャンTVにより、講師による20分～30分の課題動画を公開（演劇は1回、ダンスは2回）し、受講者はその動画を視聴し、実技を含む課題に自宅内で取り組む内容で、課題に取り組んだ動画を募り、講習会の最終回（演劇は2回目、ダンスは3回目）に応募作品の紹介と講師が講評した動画を作成し、各学校に限定公開し、今後の部活動に活かせる企画内容とした。

○ なお、具体的な回数や人数は次のとおりであり、いずれも想定を超えるものであった。

① 視聴回数 ※令和2年9月25日時点

演劇編【第1回】956回

ダンス編【第1回】611回、【第2回】438回 合計2,005回

② 課題作品の応募人数

・演劇編「3分間の演劇?～家に劇場をつくってみよう～」

14名(中学生7名、高校生7名)

・ダンス編「マイルーム/マイダンス」14名(高校生14名) 合計28名

5 文化課の事業実施に係る新型コロナウイルス感染症の拡大防止ガイドラインの策定

○ 文化課が主催する事業は、県立文化施設での公演・展示事業だけではなく、県内市町村施設を会場としたもの、学校や県庁舎内といった文化施設以外の建物内や屋外など、様々な空間を会場として行われている。また、事業内容についても、様々な規模で実施される鑑賞型事業の他、ワークショップなどの参加型事業、公募美術展及び文化賞・スポーツ賞贈呈式等、多様なジャンル・様態の事業が行われている。

○ これらの様々な会場空間及び事業の様態を十分に踏まえ、会場及びその周辺地域において、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止する必要があることから、文化課固有のガイドラインを作成することとし、必要となる負担を勘案しつつ最大限の対策を講ずるものとした。

6 共生共創事業におけるオンラインを活用した事業の実施

○ 外出機会の減っているシニアを対象に、「シニアのための自宅でできる心軽やかダンスレッスン」動画を、7月にYouTubeで配信し、コロナ禍におけるシニアの未病改善に役立てた。

(再生回数: 32,338回(12/21時点) グッドボタン: 186件、バッドボタン: 10件)

○ シニアを対象としたダンスワークショップ(チャンレンジ・オブ・ザ・シルバー)を、今年度は、ZoomやYouTubeを活用することで、参加者が自宅から参加する形で実施した。(9回実施済み。1月に1回実施予定)

○ シニア劇団の稽古を、今年度はLINEやZoomを活用し、参加者が自宅から参加できる形で実施した(随時実施。参加者が稽古場に集合して行う稽古も随時実施している。)

○ 公演について、集客はせず、オンライン配信により実施する予定である。(シニアダンス1公演、シニア劇団3公演、障がい者公演・企画2件、国際文化交流企画1件)